

## 【在宅フォーラム】

### 『医療と福祉の連携』～訪問看護師が鍵～

在宅医療は何よりも多職種連携が大切であり、近年、医療と福祉の連携が徐々にスムーズに実践されつつあります。2012年4月から制度化された「介護職員等による喀痰吸引等」も全国で実施され始めているところです。今後の在宅医療連携を進めるに当たって、「喀痰吸引等」に係る連携は大変重要ですが、制度の理解不足や連携体制の構築の困難さなど、全国で様々な課題が浮上している現状があるようです。

そこで、下記のとおり「在宅フォーラム」を開催し、各方面からの関係者に参集いただき、具体的な課題を明らかにした上でその対応策について考えてみたいと思います。

#### 記

日時：平成25年2月24日（日）13時～16時

場所：長良川国際会議場 大会議室

#### 【内容】

☆来賓挨拶 岐阜県医師会 会長 小林 博 様

#### ☆講演

- |             |                  |             |
|-------------|------------------|-------------|
| ① 厚生労働省     | 障害福祉課 障害福祉専門官    | 高木 憲司 (30分) |
| ② 医師（北海道）   | NPO法人ささえる医療研究所   | 村上 智彦 (30分) |
| ③ 看護師（兵庫県）  | 北須磨訪問看護・リハビリセンター | 藤田 愛 (15分)  |
| ④ ヘルパー（千葉県） | 在宅障害福祉サービスりべるたす  | 伊藤佳世子 (15分) |
| ⑤           |                  | 当事者2名 (15分) |
| ⑥ ケアマネジャー   |                  | 1名 (15分)    |

<10分休憩>

～演者によるシンポジウム～ (40分)

#### ☆討論（全員）

- |           |                       |    |       |
|-----------|-----------------------|----|-------|
| ○総合司会     | 岐阜市医師会                | 理事 | 高木 寛治 |
| ○シンポジウム座長 | 岐阜県在宅療養支援診療所連絡会       | 会長 | 小笠原文雄 |
|           | 岐阜県看護協会訪問看護ステーション統括所長 |    | 野崎加世子 |

主催：日本在宅ホスピス協会、岐阜県在宅療養支援診療所連絡会

共催：NPO法人ささえる医療研究所、NPO法人リターンホーム

厚生労働省委託事業在宅医療連携拠点事業所（小笠原内科）

後援：岐阜県、岐阜市、岐阜県医師会、岐阜市医師会、岐阜県看護協会、

岐阜県介護支援専門員連絡協議会、岐阜県ホームヘルパー連絡協議会（予定）

取材（予定）：NHK、訪問看護と介護（医学書院）